

ワンタッチ インタークーラー水洗キット

【JL17001】 取付・取扱説明書

この度は、ワンタッチ ULTRAインタークーラー水洗キット【JL17001】をお買い上げいただき誠に有り難うございます。本商品を正しく安全にご使用いただく為に、下記の使用上のご注意・取付方法を作業・使用前によくお読みいただき取付の参考にして下さい。間違った使用方法においての艇体・機関等へのクレーム保証は一切いたしかねますので、使用に際しては充分にご注意下さい。

使用上のご注意

- ★ 本製品は、Kawasaki ULTRA250X/260X/260LX のインタークーラー内部水路を洗浄（フラッシング）にご使用ください。
- ★ 取付に関して各クランプ・ホースは必ず確実に差込、締め付けてください。ホース・クランプの締め付け不良により、ホースが外れた場合、エンジンに重大な損傷を起こす可能性があります。
- ★ 本製品取付後、走行中においては、ワンタッチアダプターは「カチッ」と音がするまで差込、ワンタッチアダプターのグレーの固定リングは「LOCK」にして下さい。（別紙参照）
- ★ インタークーラー洗浄時は、エンジン始動の必要はありません。
- ★ この製品で100%インタークーラーを洗浄できるわけではありませんので、インタークーラーの定期的な分解洗浄を正しい知識のあるショップで行うことをお勧めいたします。

取付作業前の注意事項

1. 取付けは船体メーカー発行のサービスマニュアルによる確かな知識及び技術を持ったメカニックにより行われること。
2. 商品は目的にあった正しい取付けが行われていること。
3. 関係する法令を厳守した使用をすること。
4. 正しい取付け、使用方法などを厳守して下さい。その他、使用において、商品の品質に保証は出来ません。それ以外のどのような事柄に対しても責任を負いかねますのでご了承下さい。



●必ず取付け、取扱い、前にお読み下さい。

注意

当製品は KAWASAKI 発行サービスマニュアルの冷却・ビルジ系統を参照してください。間違った取付け方法による、船体・機関へのクレームは対象外とさせていただきます。取付け後、も定期的なインタークーラーの分解清掃作業は必要となります。【メーカー推奨25時間毎】

取扱注意事項

1. 製品には、鋭利な箇所もありますので、取付けの際、怪我をしないように防具を使用し取付けにあたってください。また、取付け後も製品で怪我をしないようご注意ください。
2. 製品には、製造過程時にできる溶接焼け、レーザー切断面、研磨ムラにつきましては、個体差が生じますのであらかじめご了承下さい。これらの内容につきましては、使用性能に問題はありませので、クレーム対象外とさせていただきます。
3. ホース・クランプは確実に差込、締め付けを行ってください、ホースが外れた場合、エンジンに重大な損傷を与えます。

製品内容部品

ワンタッチ水洗カプラー	×1
ワンタッチ水洗カプラー専用 L 型パイプ	×1
ステンレス カプラーブラケット	×1
ガスケット(プレート)	×1
ホースクランプ	×2
延長ホース	×1

インタークーラー水洗キット 取り付け方法

1. シートを取外し、グラブレールを取外(M6 ナット×4)して下さい。※1
2. イラスト矢印で示すホースを取外します。(インタークーラー上部とエキゾーストマニホールドに接続されているホース)※2
3. 画像〇内※3のクランプを緩め、ホースを完全に取外し、付属の延長ホースをエキゾーストマニホールドのフィッティングへ取付、反対側へ付属の専用 L 型パイプ(青色)を取り付けます。※4
4. ブラケットを取り付ける為、カムカバー上部のプレート※5(ボルトコガタツバツキ6×14 3本)を取外します。※6
5. 2. で外したホースを使用し、ブラケットへワンタッチ水洗カプラーを通した状態で付属のクランプにて締め付け、曲がっている方をインタークーラー上部へ取付けてください。この際ホースに無理なねじれ等無いか確認し取付けてください※7
6. 付属のガスケット(プレート)を使用し5. で準備したブラケットをカムカバーへ取付けてください。(締付トルク N・m)
7. ワンタッチカプラーへ L 型パイプを差込でください。走行中はワンタッチ水洗カプラーが必ず(LOCK)になっていることを確認して下さい。
8. グラブレールを本体へ戻し、取付けてください。
— 取付作業はここで完了です。 —
9. 走行終了後のフラッシング方法は、L 型パイプを取外し、付属のストレートパイプ(白色)を使用してフラッシングを行ってください。この際エンジンの始動は必要ありません。このキットを使用し、エンジン側への水洗は行わないで下さい。
8. インタークーラーの水洗(フラッシング)を済ませた後は、L 型パイプを元へ戻し、ワンタッチカプラーを Lock してください。

※1



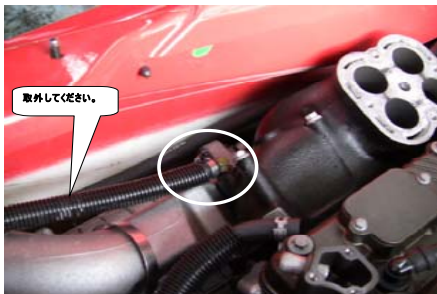
※2



※3



※3



※4



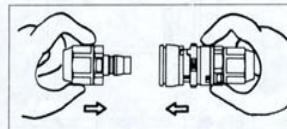
※6



取り扱い方法

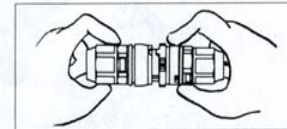
●ソケットとプラグの取り付け方

ジョブレスシリーズはワンタッチ方式を取り入れていますのでプラグを差し込むだけで簡単に取り付けできます。



①ソケットとプラグを真つすく差し込みます。

△注意 この際、ソケットのスライダーは引き下げないで下さい。スライダーを引き下げながらプラグを差し込みますと差し込みにくいうえ、接続不良の原因となります。

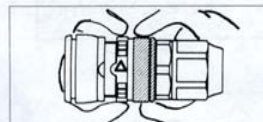


②カチッと音がするまで押し込んで下さい。

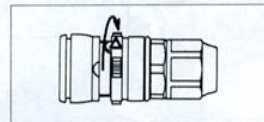
△注意 取り付け完了後は、必ずセーフティロック機構をロックして下さい。(セーフティロック機構のロックと解除方法参照)

●セーフティロック機構のロック・解除方法

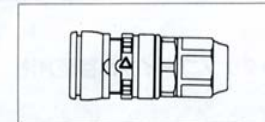
セーフティロック機構は、ソケット・プラグの結合時に不意にプラグが外れないようにする機構です。



①本体部分(図の斜線部)と安全リングをそれぞれ手で持ちます。



②安全リングを矢印△の方向にカチッと音がするまで(約90°)回すとロック状態になります。



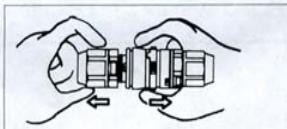
③安全リングを矢印△と逆方向にカチッと音がするまで(約90°)戻すと解除状態になります。

*あらかじめソケットをロックした状態でもプラグの取り付けは可能です。

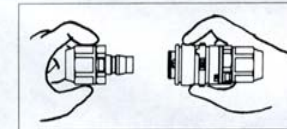
△注意 安全リングの凸部と本体部の凹部の位置が合うまで戻して下さい。

●ソケットとプラグの取り外し方

セーフティロック機構を解除してから外して下さい。(セーフティロック機構のロック・解除方法参照)

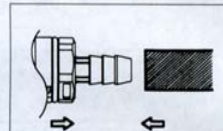


①ソケットのスライダーを引き下げます。



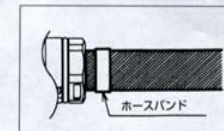
②スライダーを引き下げた状態でプラグを引き抜きます。

●タケノコタイプの接続方法



①ホースをタケノコ部の根元まで差し込みます。

△注意 必ずサイズの適したホースを使用して下さい。(詳しくは、カタログ・リーフレットをご参照下さい。)



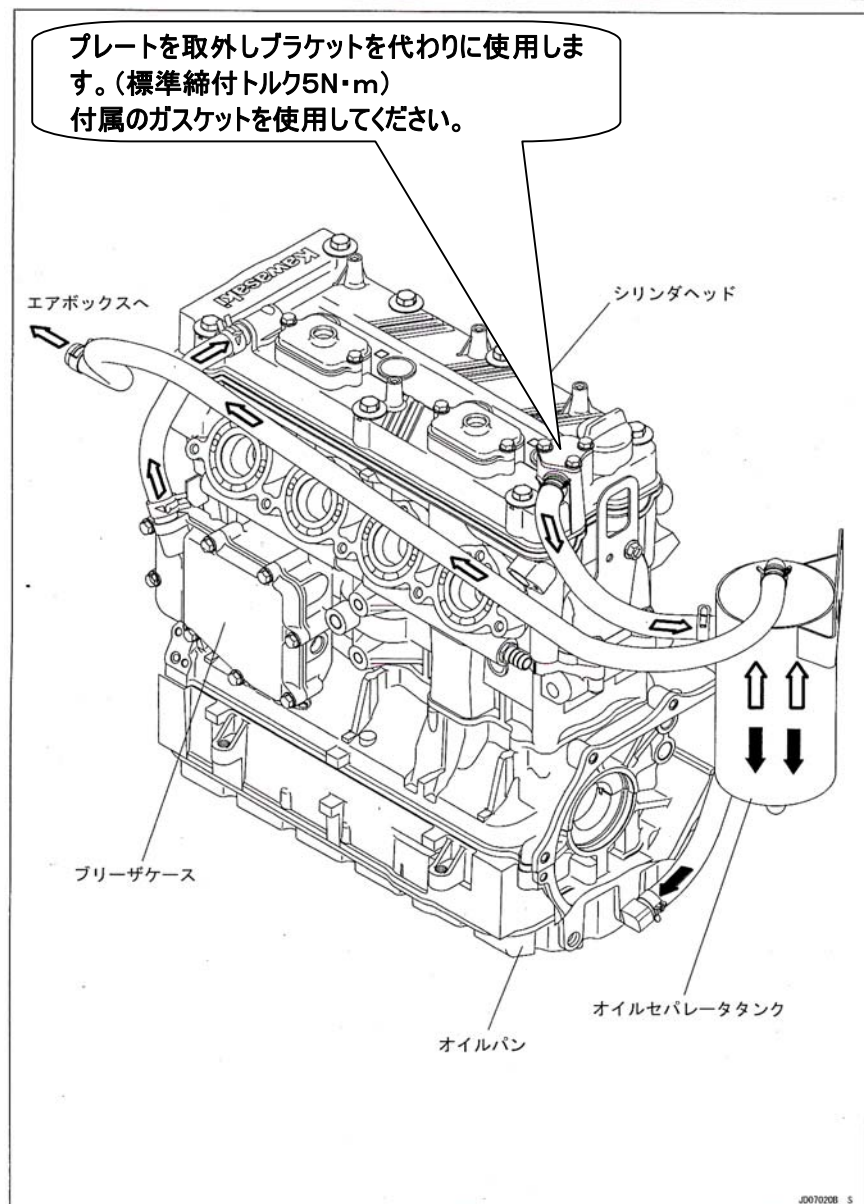
②ホースバンドで当製品とホースを抜けないようしっかり固定して下さい。

△注意 ホースバンドで固定されない場合、当製品からホースが抜けてしまい事故につながる恐れがあります。又、必要以上にホースバンドを締め過ぎますと当製品が破損します。

Kawasaki ULTRA250X ('07)

4-4 エンジン潤滑機構

エンジンオイルの流れ



9-14 冷却・ビルジ系統

冷却およびビルジ系統の流れ図

